

科目名	FBL：CreativeSchool応用編
主担当教員	鶴田 宏樹
開講区分	第2クォーター集中講義
教室	眺望館1階Vルーム
授業のテーマ	本授業は、Creative School基礎編で培った「考え方の考え方」に基づいて、実社会における課題に対してソリューションを提案してもらう課題解決型学習です。本講義は、文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業における「レジリエンス社会の構築を牽引する社会起業家精神育成プログラム」として開講し、神戸大学・東北大学・宮城大学・北海道大学・小樽商科大学・徳島大学が共同で実施するプログラムの一部に含まれます。今年度のテーマは、「被災地に学び、未来の防災・減災を考える～南海トラフなど来たる自然災害に備える～」とします。東北でのフィールドワークを通じて、東日本大震災における復興プロセスを振り返りながら、今後発生するであろう我が国の大規模災害に対して、徳島にて新しい復興／防災・減災の在り方を考えることで、未来のレジリエンスについて考える機会を設けます。
授業の到達目標	本プログラムにおいて、レジリエンスとは、「システム・企業・個人が極度の状況変化に直面した時、基本的な目的と健全性を維持する能力」（「Resilience」 Andrew Zolli and Marie Healy [2013]）と定義し、レジリエント社会の構築を牽引する人材を「社会システムの脆弱性を読み解き、災害による変化を予測して、創造的価値を生む事業を創出・持続できる人」と定義します。本定義に基づき、以下の4項目を到達目標とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会システムの背景（歴史・文化・地理・産業など）を理解することができる。 ・極度の状況変化による影響（社会システムのダメージ・ステークホルダーの心理など）を理解できる。 ・自助・共助・公助の視点を有する。 ・社会的価値と経済的価値を両立する事業を設計することができる。
授業の概要と計画	○9月集中講義（開講日程は未定：追って連絡します） 遠隔講義（オンデマンドとリアルタイム）で開講します。 第1回 オリエンテーション 講義「レジリエント社会とは何か」 講義とワーク「社会システムとその脆弱性」 講義とワーク「極度の状況変化による影響」 講義とワーク「極度の状況変化を理解するーインフラ・心理ー」 第2回 視察「女川町」 講義「自助・共助・公助の仕組み」 視察「雄勝町」 グループワーク 発表とフィードバック 第3回 講義「来たるべき大規模災害の予測」 講義とワーク「発災・復旧・復興の時間的全体俯瞰」 講義とワーク「社会的価値と経済的価値の両立」 講義とワーク「レジリエントを高める事業を描く」 グループワーク 発表・フィードバック
学生へのメッセージ	大学の中には、見えないことがたくさんあります。実際に社会を見て、問いを立て、課題を設定することを常に心がけてください。グループワークによる議論から、他者の考えを聞き出し、複数の異なる意見を統合することに挑戦してみてください。とても難しいですが、まずは、異なる意見の関係性を構造化して可視化してみましょう。
今年度の工夫	復興／防災・減災に係る事業創出について体系的に教示する。復興／防災・減災に係る事業創出におけるコミュニティを他大学と連携して構築する。フィールドワークを充実させる。
参考書・参考資料等	レジリエンス復活力：あらゆるシステムの破綻と回復を分けるものは何か(アンドリュー・ゾリリ他)ダイヤモンド社 2017